

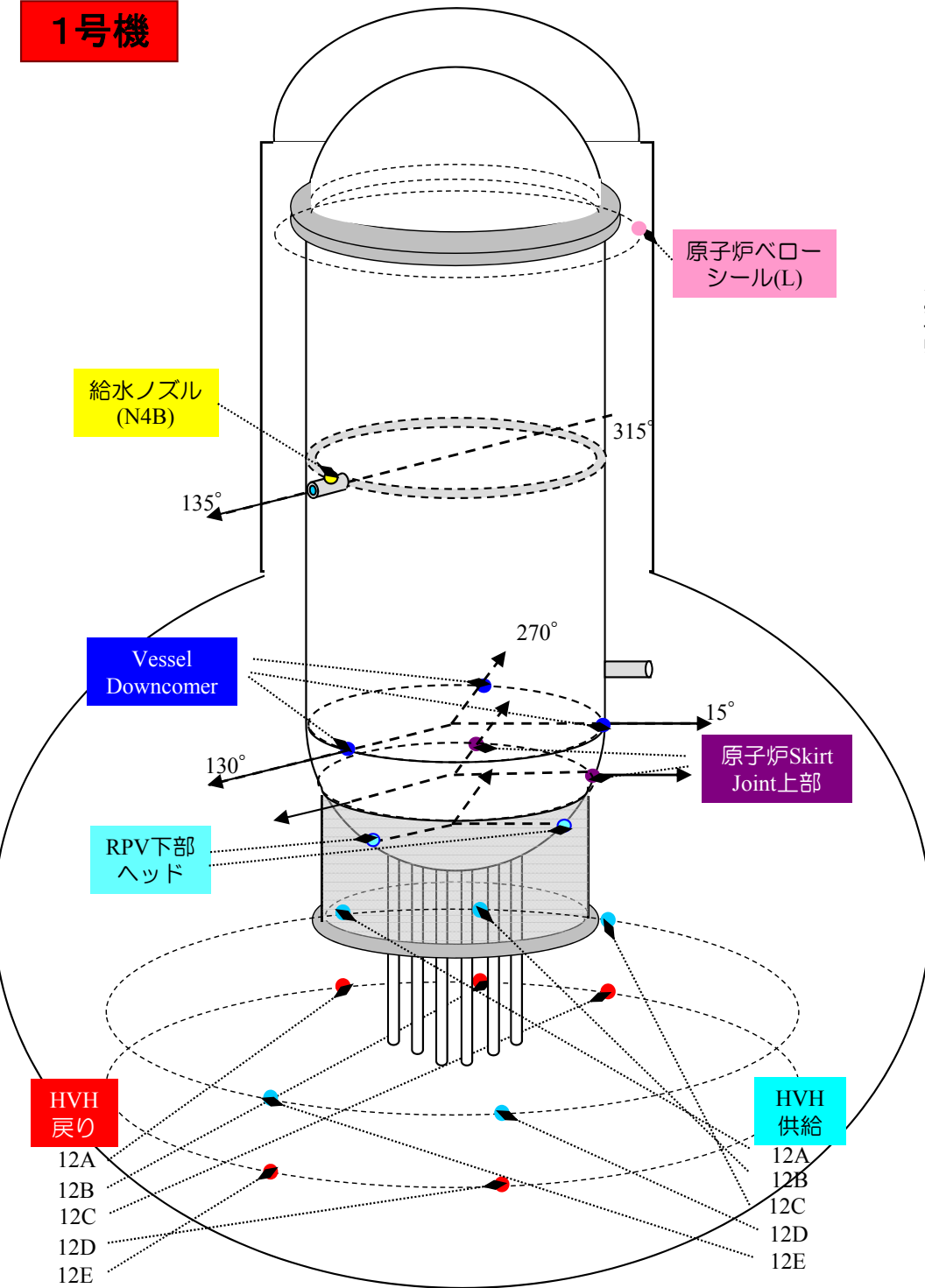
福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

号機	1号機		2号機		3号機		4号機	
	12月24日	1月28日	12月24日	1月28日	12月24日	1月28日	12月24日	1月28日
原子炉注水状況	給水系：2.6m ³ /h CS系：2.0m ³ /h (12/24 11:00 現在)	給水系：2.5m ³ /h CS系：1.9m ³ /h (1/28 11:00 現在)	給水系：2.0m ³ /h CS系：2.3m ³ /h (12/24 11:00 現在)	給水系：1.9m ³ /h CS系：2.3m ³ /h (1/28 11:00 現在)	給水系：2.0m ³ /h CS系：2.4m ³ /h (12/24 11:00 現在)	給水系：1.9m ³ /h CS系：2.5m ³ /h (1/28 11:00 現在)		
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：18.7℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：18.6℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：18.6℃ (12/24 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：16.2℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：16.1℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：16.1℃ (1/28 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：24.5℃ (12/24 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：21.7℃ (1/28 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1)：22.6℃ スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：22.7℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：20.6℃ (12/24 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1)：19.3℃ スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：19.4℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：17.5℃ (1/28 11:00 現在)		
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：19.0℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：18.4℃ (12/24 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：16.5℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：16.0℃ (1/28 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：26.9℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：24.3℃ (12/24 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：23.7℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2- 16B (TE-16-114G#1)：21.6℃ (1/28 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：22.1℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：20.1℃ (12/24 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：19.1℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：17.9℃ (1/28 11:00 現在)	-	-
原子炉格納容器 圧力	4.3kPa g (12/24 11:00 現在)	4.1kPa g (1/28 11:00 現在)	6.28kPa g (12/24 11:00 現在)	4.43kPa g (1/28 11:00 現在)	0.21kPa g (12/24 11:00 現在)	0.18kPa g (1/28 11:00 現在)		
窒素封入流量 ※1	RPV：28.96Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (12/24 11:00 現在)	RPV：28.42Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (1/28 11:00 現在)	RPV：15.92Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (12/24 11:00 現在)	RPV：15.95Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (1/28 11:00 現在)	RPV：16.97Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (12/24 11:00 現在)	RPV：17.00Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (1/28 11:00 現在)		
原子炉格納容器 水素濃度 ※3	A系：0.05vol% B系：0.06vol% (12/24 11:00 現在)	A系：0.03vol% B系：0.02vol% (1/28 11:00 現在)	A系：0.09vol% B系：0.07vol% (12/24 11:00 現在)	A系：0.06vol% B系：0.05vol% (1/28 11:00 現在)	A系：0.09vol% B系：0.08vol% (12/24 11:00 現在)	A系：0.07vol% B系：0.07vol% (1/28 11:00 現在)		
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：9.02E-04Bq/cm ³ B系：1.14E-03Bq/cm ³ (12/24 11:00 現在)	A系：1.08E-03Bq/cm ³ B系：1.27E-03Bq/cm ³ (1/28 11:00 現在)	A系：ND(2.1E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(2.0E-01Bq/cm ³ 以下) (12/24 11:00 現在)	A系：ND(2.1E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(2.0E-01Bq/cm ³ 以下) (1/28 11:00 現在)	A系：ND(3.0E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(3.0E-01Bq/cm ³ 以下) (12/24 11:00 現在)	A系：ND(3.0E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(3.0E-01Bq/cm ³ 以下) (1/28 11:00 現在)		
使用済燃料 プール水温度	12.0℃ (12/24 11:00 現在)	13.0℃ (1/28 11:00 現在)	26.2℃ (12/24 11:00 現在)	26.3℃ (1/28 11:00 現在)	20.5℃ (12/24 11:00 現在)	21.2℃ (1/28 11:00 現在)	8.6℃ (12/24 11:00 現在)	7.7℃ (1/28 11:00 現在)
FPC 封入剤の 水位	3.12m (12/24 11:00 現在)	4.15m (1/28 11:00 現在)	3.26m (12/24 11:00 現在)	2.91m (1/28 11:00 現在)	4.28m (12/24 11:00 現在)	4.48m (1/28 11:00 現在)	36.08×100mm (12/24 11:00 現在)	39.38×100mm (1/28 11:00 現在)

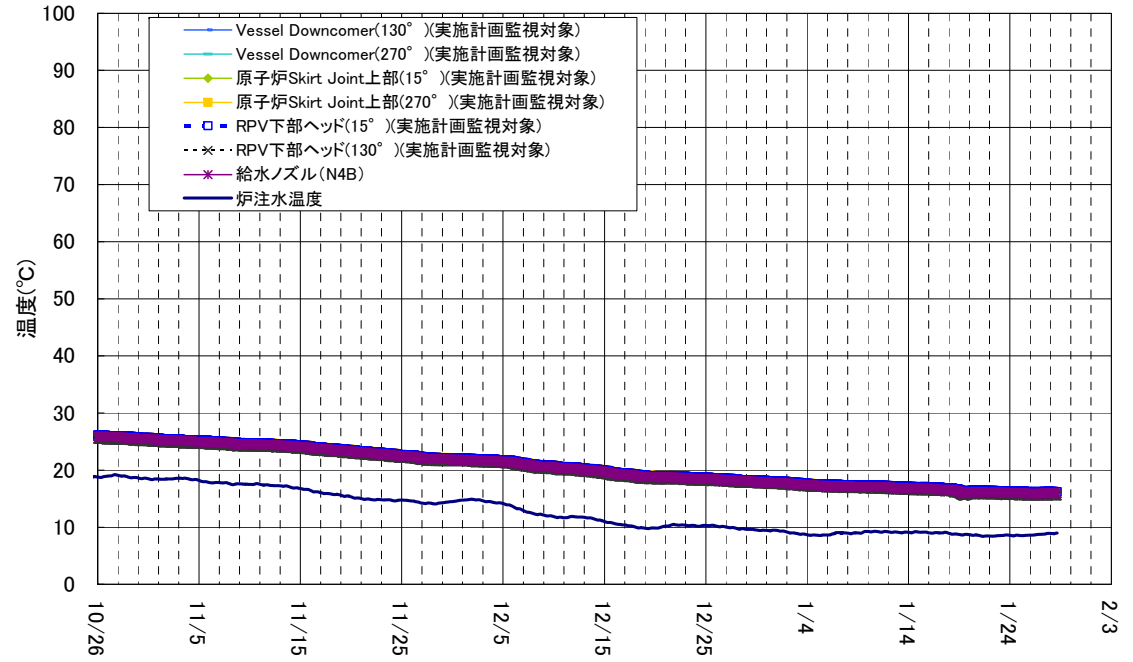
※1: 使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。
 ※2: 窒素封入停止中
 ※3: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約10℃～約40℃で推移。
 格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。
 以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

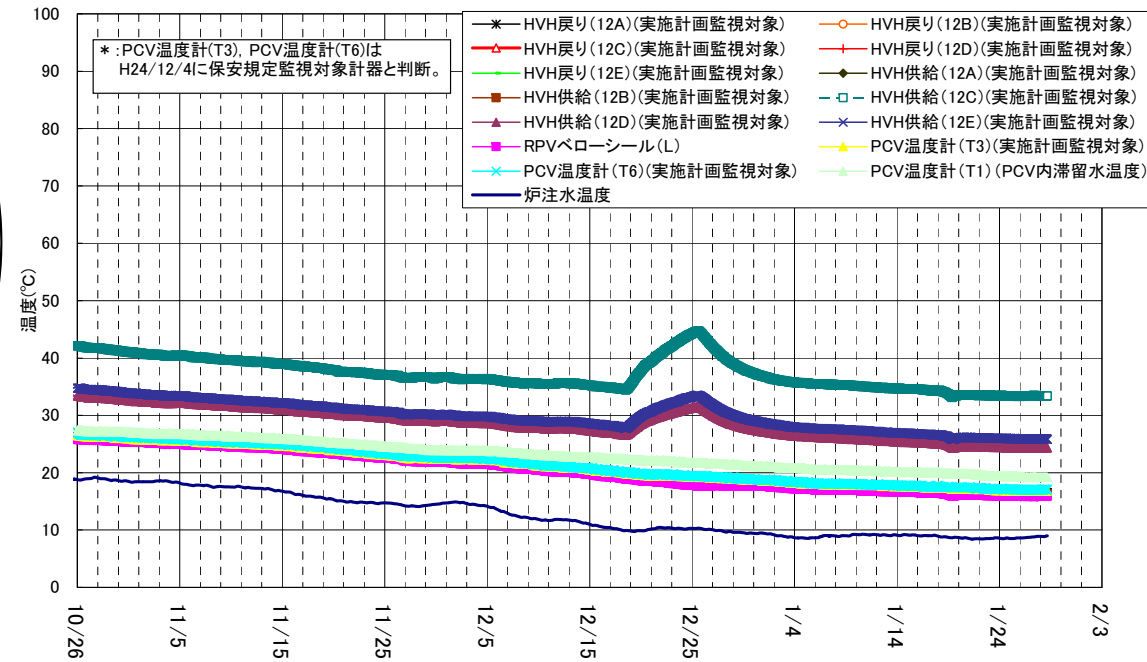
1号機



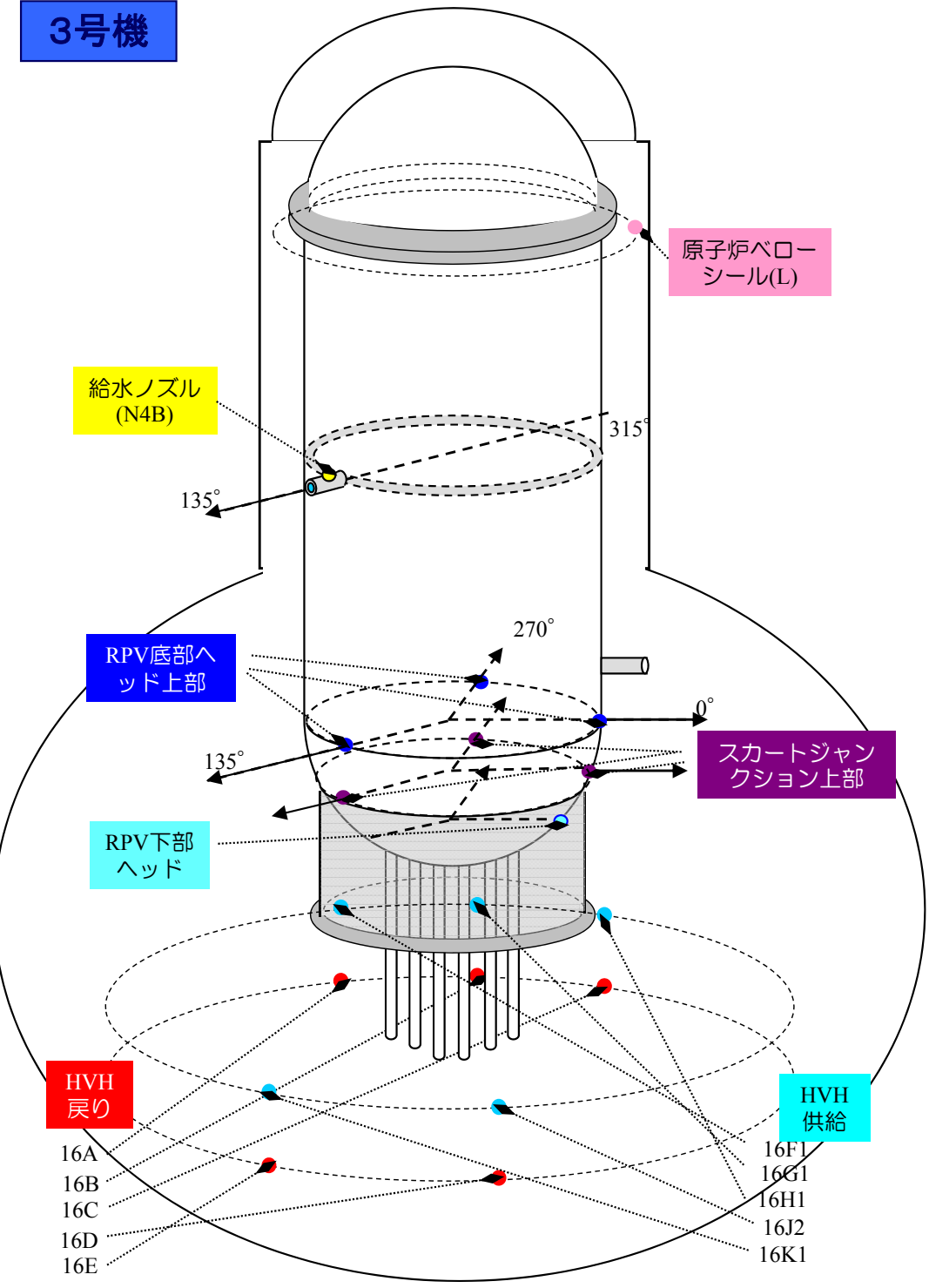
1号機 原子炉压力容器まわり温度(10/26~1/28)



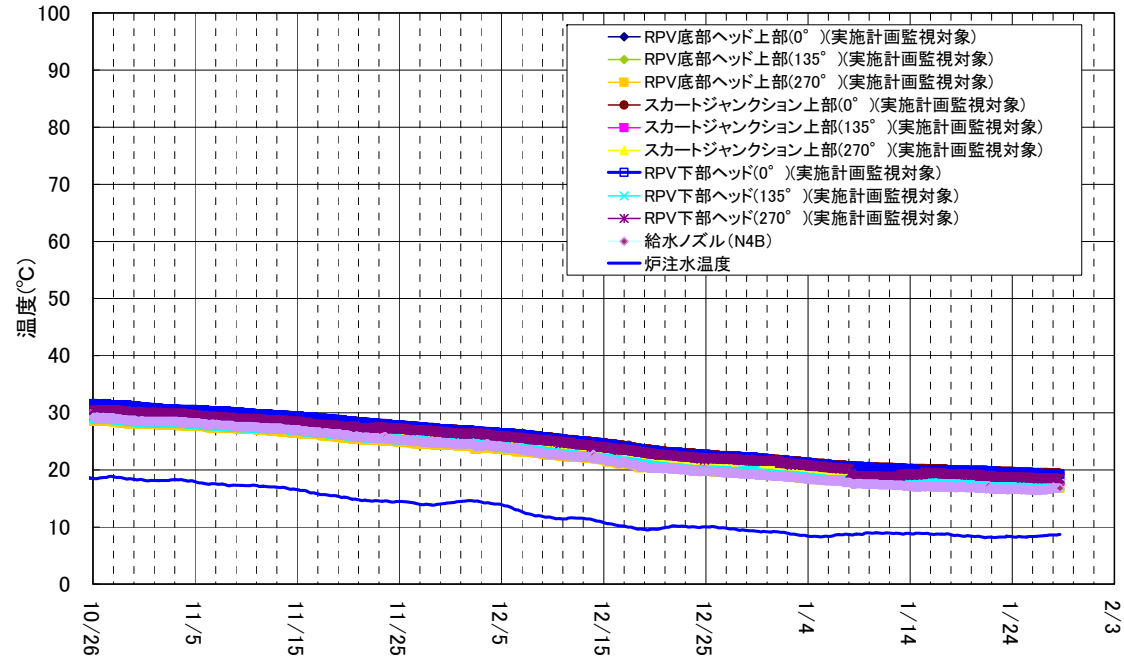
1号機 D/W雰囲気温度(10/26~1/28)



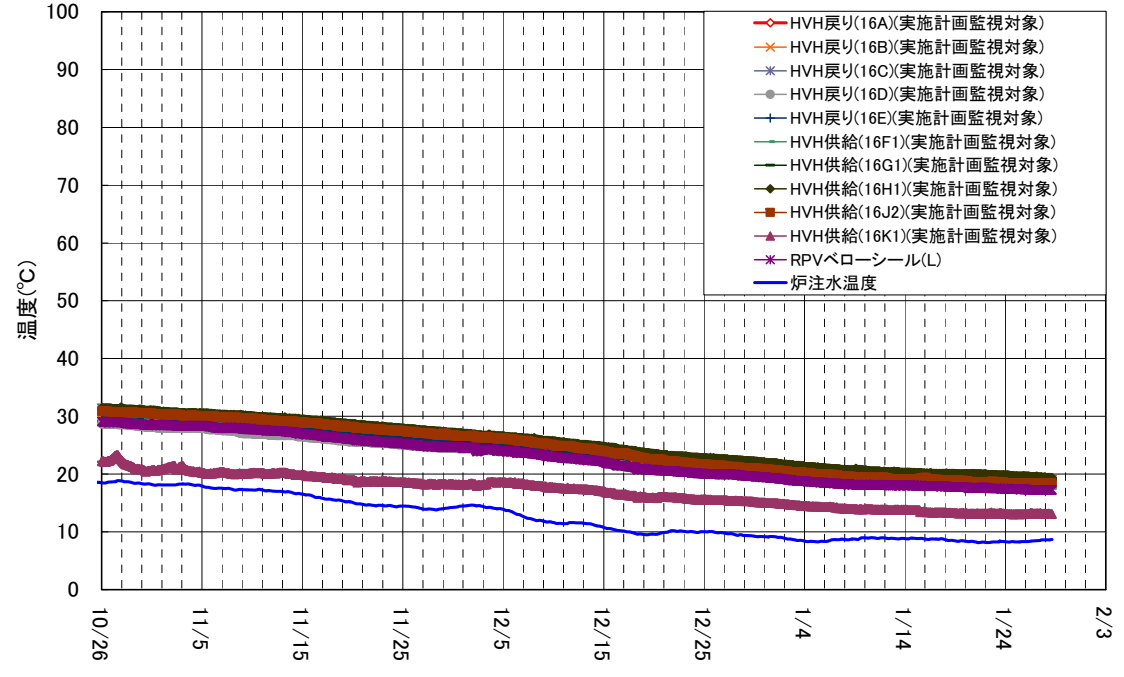
3号機



3号機 原子炉压力容器まわり温度(10/26~1/28)



3号機 D/W雰囲気温度(10/26~1/28)



滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

滞留水の貯蔵状況(1月22日時点)

① 建屋内滞留水水位及び貯蔵量

- ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
- ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中

② 1~4号機タンク貯蔵量

- ・淡水化装置による処理により、淡水及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
- ・蒸発濃縮装置は全台停止中

③ 5、6号機滞留水貯蔵量

- ・構内散水によりF・Hエリア等タンク貯蔵量は変動あり

① 建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約13,100m ³	OP.2.371
2号機	約15,200m ³	OP.2.503
3号機	約20,800m ³	OP.2.696
4号機	約16,200m ³	OP.2.729
合計	約65,300m ³	

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約13,670m ³	OP.3.684
高温焼却炉建屋	約3,070m ³	OP.1.735
合計	約16,740m ³	

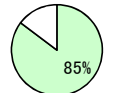
(合計):+40[m3/30日] (合計):+2160[m3/週]

廃液供給タンク	貯蔵量	貯蔵容量
SPT(B)	637m ³	1,200m ³
	880m ³	3,100m ³

(合計):+146[m3/30日] (合計):+101[m3/週]

④ 廃棄物発生量

廃スラッジ



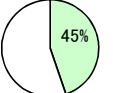
保管量:597/700[m3]※3

使用済ベッセル



保管量:1621/3317体※1

濃縮廃液

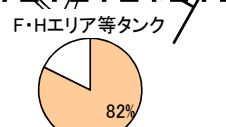
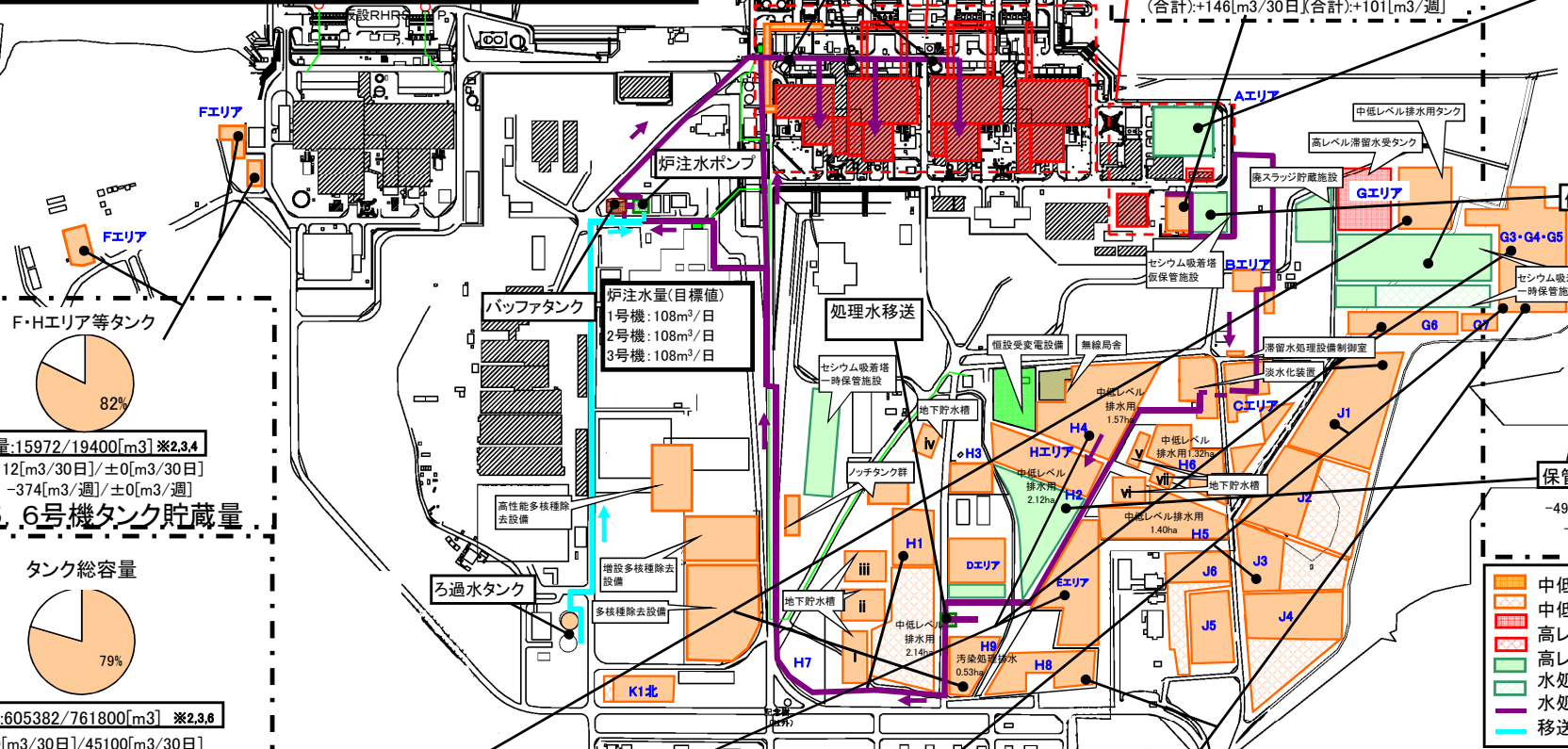


保管量:8948/20000[m3]※2,3

-49[m3/30日]/±0[m3/30日]

-11[m3/週]/±0[m3/週]

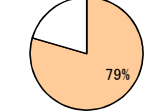
- 中低レベル(既設)
- 中低レベル(追設予定)
- 高レベル(既設)
- 高レベル(追設予定)
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 移送ルート



水量:15972/19400[m3] ※2,3,4
-1112[m3/30日]/±0[m3/30日]
-374[m3/週]/±0[m3/週]

③ 5、6号機タンク貯蔵量

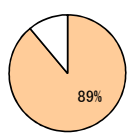
タンク総容量



水量:605382/761800[m3] ※2,3,6
8489[m3/30日]/45100[m3/30日]
1632[m3/週]/8600[m3/週]

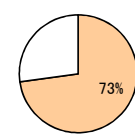
② タンク貯蔵量合計(②+③)

②-a 淡水



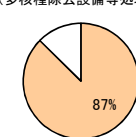
水量:24454/27500[m3] ※2,3
+185[m3/30日]/±0[m3/30日]
-146[m3/週]/±0[m3/週]

②-b 濃縮塩水



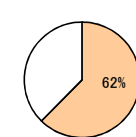
水量:272459/374200[m3] ※2,3,6
-39542[m3/30日]/-17000[m3/30日]
-13668[m3/週]/-7500[m3/週]

②-c 処理水 (多核種除去設備等処理済水)



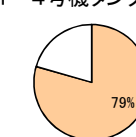
水量:279264/319500[m3] ※2,3,5,8
+39977[m3/30日]/+45200[m3/30日]
+9547[m3/週]/+8700[m3/週]

②-d Sr処理水



水量:13233/21200[m3] ※2,3,5
+8981[m3/30日]/+16900[m3/30日]
+6273[m3/週]/+7400[m3/週]

1~4号機タンク総容



水量:589410/742400[m3] ※2,3,5,6
9601[m3/30日]/45100[m3/30日]
2006[m3/週]/8600[m3/週]

水量:約627967[m3]

12187[m3/30日] ※7
3367[m3/週]

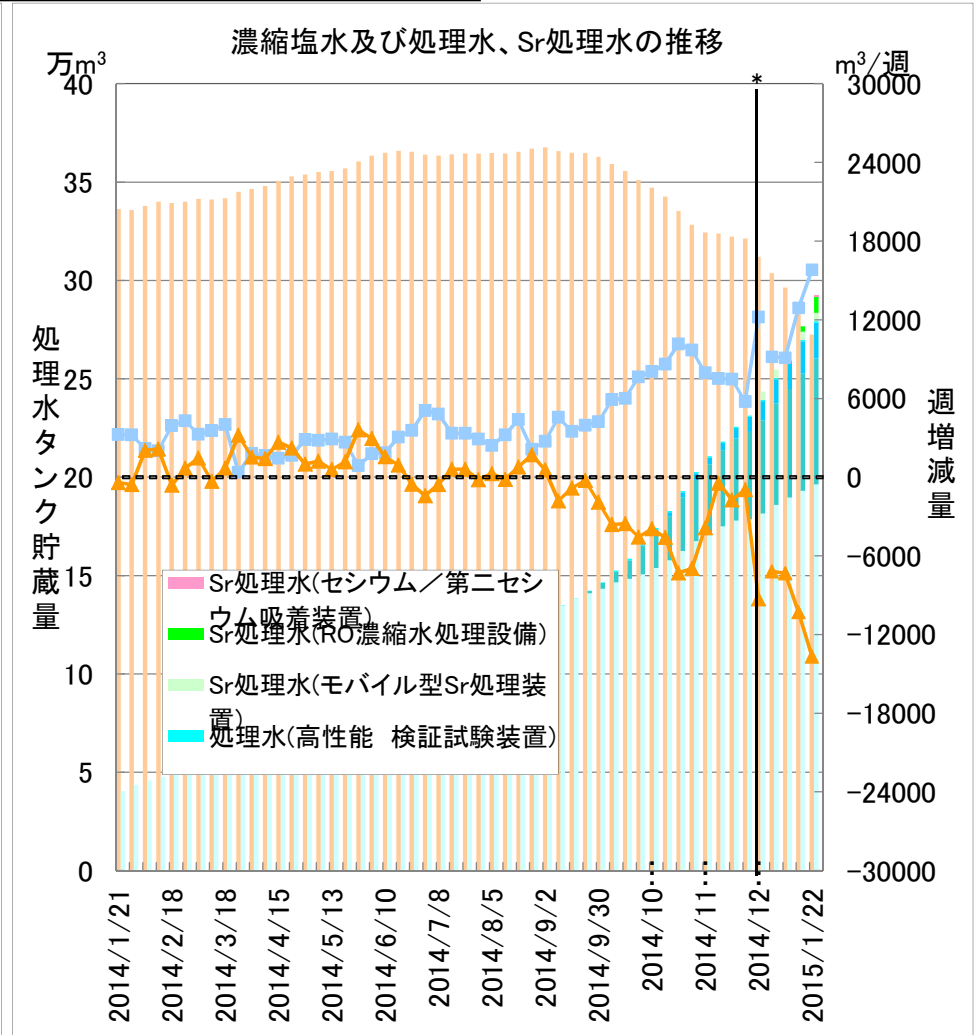
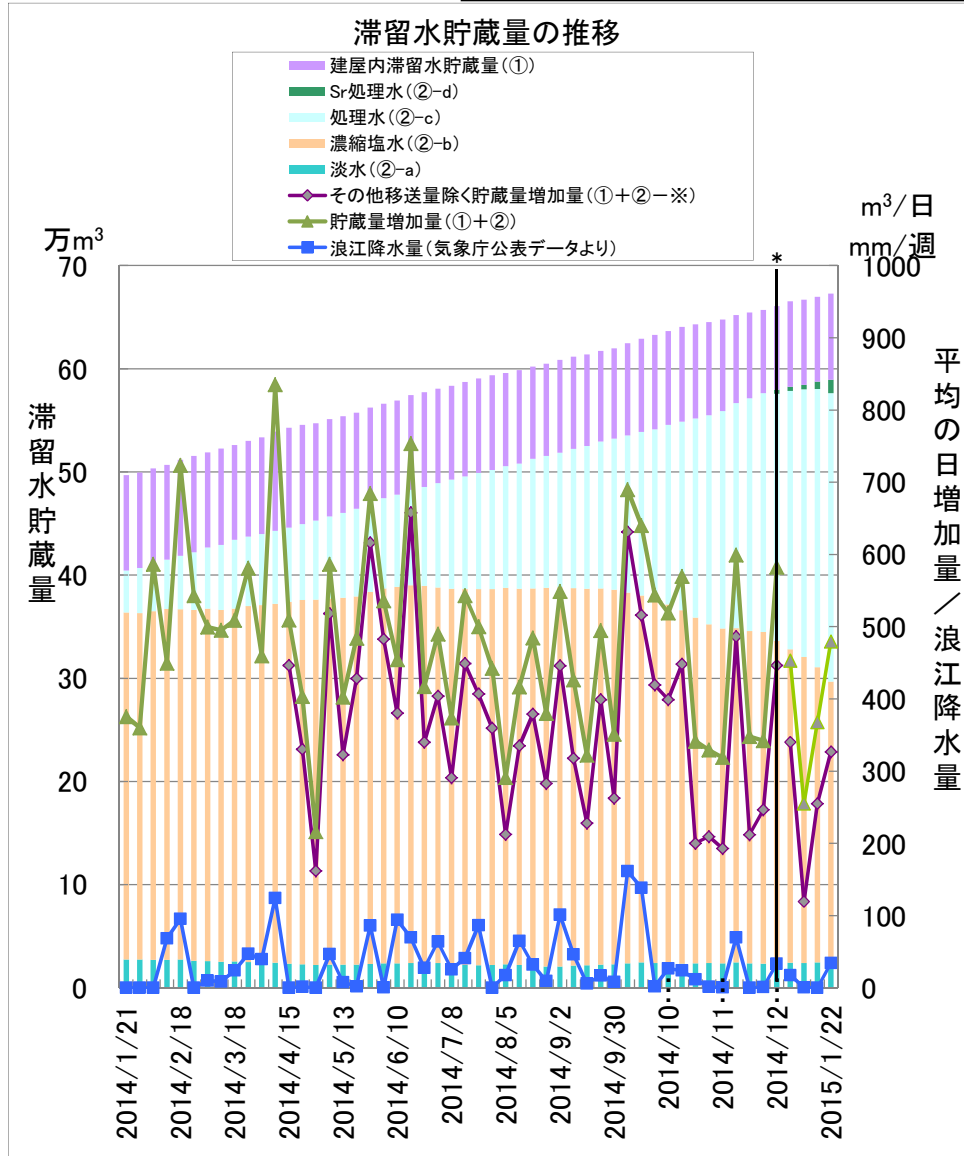
建屋内貯蔵量
+
1~4号機タンク貯蔵量
(①+②)

② 1~4号機タンク貯蔵量

タンク堰内水の一時貯留量(*1月27日時点の値を記載)
・ノッチタンク群 約1500(±0[m3])/約4900[m3]

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
※2 装置稼働中につき水位が静定しないため参考扱い
※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
※4 Hエリアのタンク(約3,000m³)を5,6号機滞留水に使用
※5 多核種除去設備(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
※6 地下貯水槽を含まない。ろ過水タンクの貯蔵容量(4,600m³)を含む
※7 ウルベント(約850m³/週)、共用プールから高温焼却炉建屋(約20m³/週)の移送量約870m³/週を含む
※8 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む

滞留水の貯蔵状況の推移



- ①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))
 ②: 1~4号機タンク貯蔵量([②-a淡水]+[②-b濃縮塩水]+[②-c処理水]+[②-dSr処理水])
 ※: ウェルポイント汲み上げ量、海水配管トレンチへの氷投入量、多核種除去設備薬液注入量の合計

* 2015/1/1より集計日を変更(火曜日→木曜日)

処理水	累積処理水		期間処理水		定格処理量
	[m ³]	[m ³ /週]	[m ³ /日] ^{注1)}	[m ³ /日]	[m ³ /日]
既設多核種除去設備	196,386	3,299	471		750以上
増設多核種除去設備	63,957	4,393	628		750以上
高性能多核種除去設備	18,241	1,855	265		500以上
高性能 検証試験装置	680	0	0		50
Sr処理水	累積Sr処理水		期間処理水		定格処理量
	[m ³]	[m ³ /週]	[m ³ /日] ^{注1)}	[m ³ /日]	[m ³ /日]
RO濃縮水処理設備	8,317	5,609	801		500~900
セシウム吸着装置	664	664 ^{注2)}	22 ^{注3)}		600
第二セシウム吸着装置					1200
モバイル型Sr除去装置	Sr処理水		浄化処理中		
	[m ³]	[m ³]	[m ³]	[m ³]	
	4,252			4,000	

注1) 週間処理量の平均値

注2) 2015/1/19よりSr処理水として貯蔵を開始したため、1/19~1/22までの処理量

注3) 2015/1/19~1/22間の処理量のため、3日間の平均値

各エリア別タンク一覧

(平成27年1月22日 現在)

1～4号機用汚染水貯蔵タンク

※下線部は前回報告からの変更点

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
B南	5	450	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
B北	15	300	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
C	26	40	鋼製角型タンク(溶接)	濃縮塩水	
	52	40	鋼製角型タンク(溶接)	淡水	
C東	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
C西	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
D	31	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	
E	49	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
G1	72	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	淡水	
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3西	40	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	
G4南	13	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	13基の内、2基は使用時期未定
	4	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水	
G4北	6	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G5	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G6北	19	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	漏えいが確認されたため、1基使用停止 20-1=19
G6南	18	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1東	12	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H2北	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H2南	11	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	高線量箇所が確認されたため、2基使用停止 11-2=9
H4	20	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H4東	12	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H4北	21	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	漏えいが確認されたこと等から、2基撤去済み 23-2=21
H5	31	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H6	24	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水	濃縮塩水用からSr処理水用に転用
H8南	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水	濃縮塩水用からSr処理水用に転用
H9	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
H9西	7	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	

1～4号機用汚染水貯蔵タンク

※下線部は前回報告からの変更点

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J1	65	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設)	
	1	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	
	34	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	
J2	19	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設)	
J3	9	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
J4	15	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	16	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K1北	10	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
ALPS	4	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高ALPS	3	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増ALPS	3	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
水処理	1	8000	No.1ろ過水タンク	濃縮塩水	側板の一部に変形が認められたため、耐震 評価を行いRO濃縮水貯水量を4600m ³ とした。
合計	820				

濃縮廃液

D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	100	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

高濃度滞留水受けタンク

G1	28	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	高濃度滞留水	非常用の受けタンクであり、現在未使用
----	----	-----	-------------------	--------	--------------------

5, 6号機用汚染水貯蔵タンク

	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Bタンク
	5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
	2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
F1	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Kタンク
H4北	3	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	
合計	52				

(参考)

地下水バイパス用タンク

H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	---	------	------------------	-----	--